

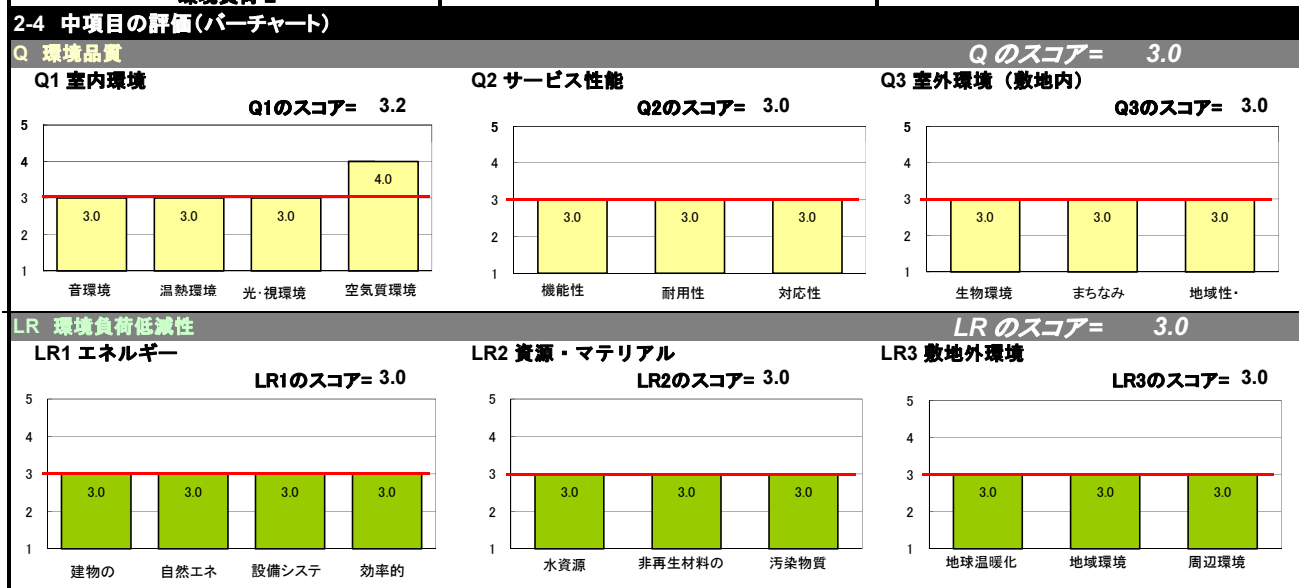
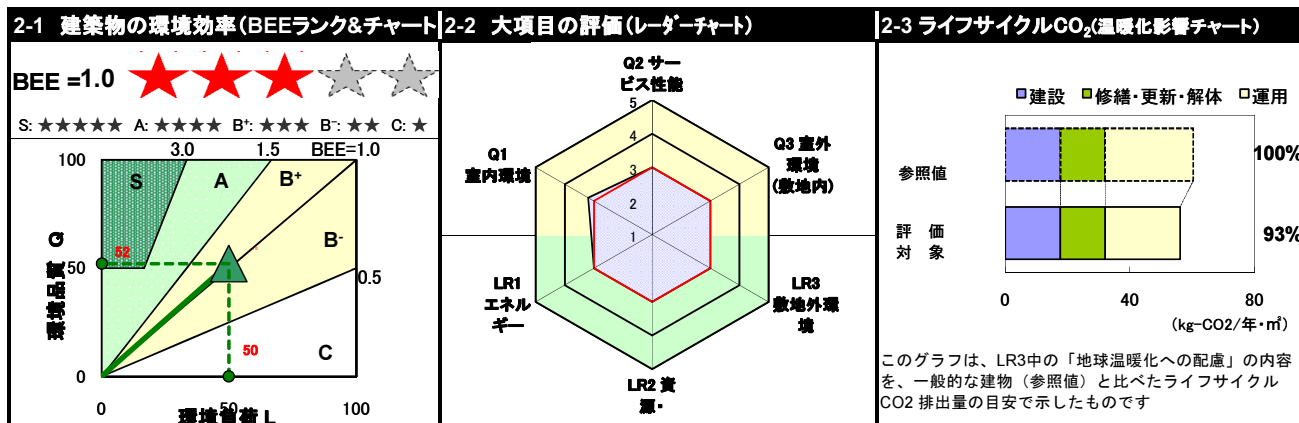
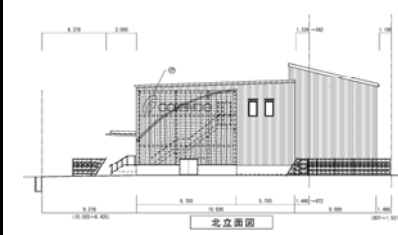


新築[簡易版]

評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-新築(簡易版) 2008年版 使用評価ソフト: CASBEE-NCb_2008(v.2.0)

1-1 建物概要			1-2 外観	
建物名称	五健堂第2総合物流センター	階数	地上2F	
建設地	京都府京都市伏見区横大路御ノ本	構造	S造	
用途地域	工業地域	平均居住人員	15 人	
気候区分	地域区分IV	年間使用時間	8,760 時間/年	
建物用途	事務所、工場	評価の段階	実施設計段階評価	
竣工年	2010年3月 予定	評価の実施日	2009年11月26日	
敷地面積	1,884 m ²	作成者	(株)ノム建築設計室 堀井	
建築面積	1,316 m ²	確認日		
延床面積	2,500 m ²	確認者		



3 設計上の配慮事項		
総合	その他	0
区画整理地区内に倉庫を建てる計画である。単調な倉庫という外観にならないよう、建物形状に変化を持たせている。		
Q1 室内環境 窓面を大きく取り、極力 自然採光、自然換気で事務作業できる様に配慮している。	Q2 サービス性能 維持管理のしやすいように配管ルートや点検口を考慮している。(露出配管等)	Q3 室外環境(敷地内) 敷地内は可能な範囲で緑化する。
LR1 エネルギー オール電化である。	LR2 資源・マテリアル エコマテリアルの使用を積極的に行う	LR3 敷地外環境 オール電化の為に大気汚染はない。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Building Environmental Efficiency (建築物総合環境性能評価システム)

■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Building Environmental Efficiency (建築物の環境効率)

■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと

■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される